

2023年 県政10大ニュース

2023年にあった県政に関する様々な「できごと」の中から、選定したものです。

第1位 千葉県誕生150周年 県内各地で記念事業を実施

千葉県は、明治6年6月15日に当時の印旛県、木更津県の両県が合併して誕生し、令和5年に150周年の節目を迎えました。千葉県誕生150周年記念パレードでは、各地域の皆様のほか、ディズニースペシャルパレードも参加するなど、大いに盛り上がりました。引き続き、令和6年の6月まで県内各地で地域の魅力を活かした記念行事が開催されます。



第2位 知事就任後、初めての台湾訪問(桃園市・台北市)

農林水産物の主要な輸出先である台湾を訪問しました。未だに一部残る輸入規制の完全撤廃に向け、行政院副院長(副首相)と会談を行ったほか、輸出促進や観光誘客、企業誘致のため、各種プロモーションを実施し、さらに友好都市である桃園市長と交流促進の会談を行うなど、大変有意義な訪問となりました。



第3位 東京湾アクアラインで時間帯別料金の社会実験を開始

土日・祝日の上り線(木更津→川崎方面)において、特定の時間帯の割引料金を変動させるETC時間帯別料金の社会実験を7月から開始し、渋滞による時間のロスが土曜日に44%、日曜日に24%減少したことが確認されました。今後、利用者の行動変化などを分析し、社会実験の評価を進めます。



第4位 令和5年台風13号の接近に伴う大雨による災害

9月の台風第13号の影響による記録的な大雨により、被害に遭われた皆さまにお見舞い申し上げます。発災後、速やかに対策本部を立ち上げ、現地視察を行い、各種復旧の陣頭指揮を執りました。一日も早く元の生活に戻り、安心して暮らせるよう、国や関係機関と連携しながら、全庁を挙げて取り組みます。



第5位 成田空港及び周辺地域の取組み

三本目の滑走路新設など成田空港は機能強化を進めており、それに連動する形で空港周辺地域の産業拠点化を進めることが重要です。昨年は政府への要請が実り、土地利用規制の弾力化などを勝ち取り、航空物流拠点の大型プロジェクトが相次いで発表されました。今後も様々な民間事業者と成田空港周辺でなければ実現できないビジョンを創り上げ、将来的にはさらなる規制緩和や活用を進めていきたいと考えています。



第6位 マラソン大会出場

3月には佐倉マラソン10kmの部(58分台)、10月には手賀沼エコマラソン・ハーフの部(2時間8分10秒)で完走。沿道の皆さんの声援に後押しされながら、走ることができました。ありがとうございます。



第7位 県内に大型企業の立地が進む

昨年は千葉県でGoogle、SMC、イオン、メルセデス・ベンツなど、大型企業の立地に関する動きが相次ぎました。人口減少時代において、地域が活力を維持するためには、産業や雇用を創出していくことが重要であり、今後とも国内外からの企業誘致を一層推進するため、トップセールスや企業訪問等を効果的に行い、本県の魅力をPRするとともに、全庁一丸となって本県へ立地を検討する企業の皆様をバックアップしていきます。



Google データセンター



7月10日「Green Beans」グランドオープン

第8位 多様性尊重の推進に係わる条例の制定

47都道府県で唯一、男女共同参画条例がない千葉県でしたが、知事選挙のビジョンに基づき、県議会とも意見交換を重ね、女性、障害者、外国人、性的マイノリティなど様々な立場の方々の人権を尊重し、活躍できる環境を整える理念を示した条例が可決されました。誰もが住みやすい社会を千葉県から実現していきます。

第9位 車いすテニスの第一人者、国枝慎吾さんに国民栄誉賞が授与される

県として県民栄誉賞、知事特別賞を贈呈しており、私も公私ともにお会いし、弛まぬ競技への情熱と、謙虚で素朴なお人柄に感銘を受けた一人です。長きにわたり、車いすスポーツ界をリードされ、私たちに夢と希望を与えて頂いたことに心から感謝申し上げます。



第10位 幕張豊砂駅の開業

県内で25年ぶりとなるJRの新駅「幕張豊砂駅」が開業。春には駅前にホテルや屋根付き歩道の新設が予定されるなど、今後、更なる利便性・回遊性の向上が期待されます。

